

HNS 等防除訓練を実施

(一財)海上災害防止センター(以下「センター」という。)では、原油・重油といった特定油、ガソリン・灯油といった特定油以外の油、ベンゼン・キシレンなどの有害液体物質(HNS Hazardous Noxious Substances)の流出や火災事故が発生した際、防災措置活動を迅速かつ的確に実施し得る人材を育成すべく、本年も日本財団より助成をいただき、HNS 等防除訓練を5月19日から23日までの5日間にわたり、当センター横須賀訓練所にて実施いたしました。



(訓練受講生29名)



(座学講習)

本訓練は、HNS等の流出・火災現場において、高度な防災措置活動を行う人材の育成を目的としています。よって、横須賀訓練所での座学だけでなく、洋上での油回収装置の操作及びオイルフェンス展張訓練の他、近年事故現場において需要が高まっているサンプリング装置等・採泥器の取扱い訓練等を実施しております。また東京湾に所在する第二海堡に建設された訓練施設にて、可燃性・有毒ガス検知器取扱い訓練、化学防護服や呼吸具を装着してのHNS等防除模擬訓練など、実動を主とした訓練を行っています。



(オイルフェンス展張訓練)



(採泥器取扱い訓練)



(自蔵式空気呼吸具取扱い訓練)



(化学防護服装着訓練)



(HNS 等防除模擬訓練)



(HNS 等防除模擬訓練)

訓練に参加した訓練生からは、「検知作業、防除作業等訓練を実施したことにより作業方法など理解が深まった。」「今回学んだことは、業務に関係してくることなので、とても有意義な時間であった。」「無知という事が一番の弱点であり、被害を大きくする可能性があることだと痛感した。当訓練を教訓とし、安全第一で防除作業を務めていきたい。」等の感想をいただきました。

当センターでは、今後も HNS 等防除訓練内容の充実を図り、海上防災体制の充実強化に寄与したいと考えております。